

2021 年度以降の名古屋大学入学者選抜における出願資格（英語 4 技能評価）について

2019 年 2 月 8 日
名古屋大学

名古屋大学は、2018 年 11 月 22 日に公表した「2021 年度入学者選抜における変更について（予告）」において、2021 年度入試（2020 年度実施入試）から、一般入試の全志願者に、CEFR の A2 レベル*1 以上に相当する英語力を出願資格として求めることを発表しましたが、このたび、推薦入試を含めた出願資格の取扱い及び確認方法の詳細について、以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

1. 出願資格

一般入試の全志願者、及び、文学部、教育学部、理学部を除く推薦入試の全志願者に、CEFR の A2 レベル以上に相当する英語力を出願資格として求めます。

2. 確認方法

以下の(1)～(3)のいずれかにより、英語力に関する出願資格を確認します。

- (1) 大学入学共通テストにおける認定試験の成績（CEFR 対照表で A2 レベル以上に相当するもの）
- (2) CEFR の A2 レベル以上に相当する英語力があると認められることが明記されている高等学校等*2による証明書（別紙「様式（案）」参照）*3
- (3) 何らかの理由で上記(1)(2)のいずれも提出できない者については、その理由*4を記した理由書*3

*1 CEFR の A2 レベル（ブリティッシュ・カウンシル）

ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事等、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。

*2 いわゆる高等学校のほか、中等教育学校、専修学校の高等課程、高等専門学校等、本学の入学者選抜要項でその卒業・修了により出願資格が認められた学校をすべて含む。

*3 様式については、当該年度の学生募集要項をご確認ください。

なお、別紙「様式（案）」については、微細な修正を加えることがあり得ます。

また、上記(3)の理由書には、高等学校等による英語力に関する証明が得られない理由、及び、下記*4等の認定試験の成績を提出できない理由の双方の記載を求めます。

*4 障害、事故、事故や病気等のやむを得ない理由で、認定試験を受験できなかった者等。

以 上

(案)

(様式)

大学記入欄

英語力についての証明書

年 月 日

名古屋大学総長 殿

学校名 _____

校 長 _____ 印

下記の者は、本校在学中に履修した英語に関する科目について、日常の授業における学習状況及び試験成績等から総合的に評価した結果、CEFRのA2レベル以上に相当する英語力を有すると判断します。

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 月 日 生